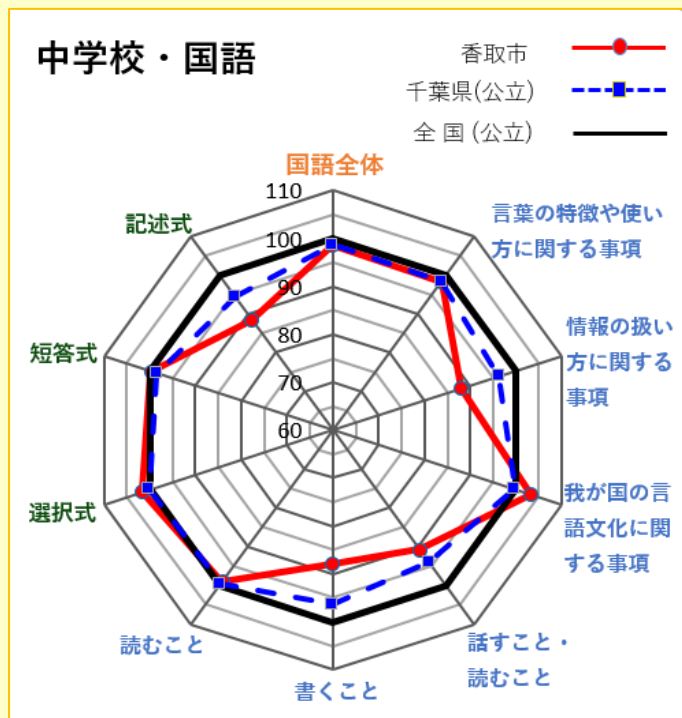


中学校の傾向と課題



内容別では、「我が国の言語文化に関する事項」が全国平均を上回り、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「読むこと」は同程度といえます。しかし、「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」は全国平均を下回っています。

問題形式別では、「選択式」が全国平均を上回ったものの、「短答式」「記述式」では下回り、課題が見られます。特に「記述式」では、全国平均を100とした場合、香取市が88.5となる結果でした。

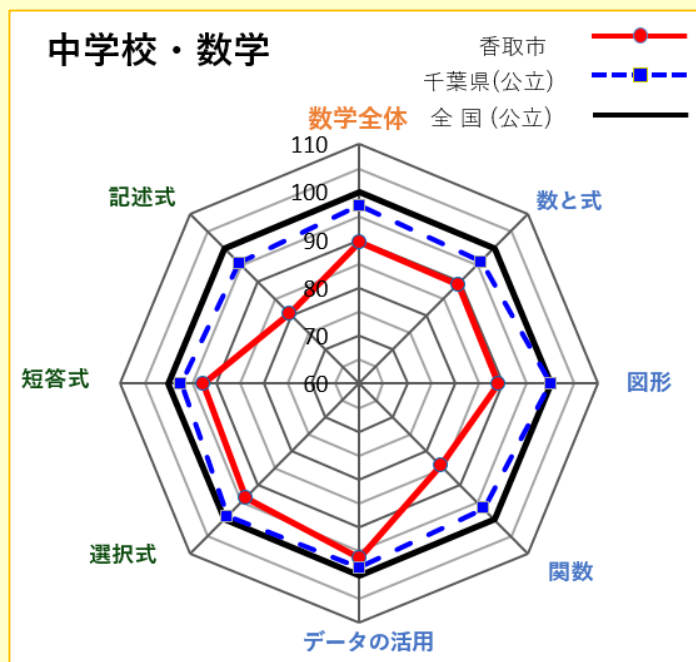
課題が見られた主な問題

● 国語 1 三	スピーチのどの部分をどのようにして工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く 【言葉の特徴や使い方に関する事項、話すこと・聞くこと、記述式】 [香取市 40.9% 千葉県(公立)45.0% 全国(公立)51.8%]
● 国語 2 三	農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える 【情報の扱い方に関する事項、書くこと、記述式】 [香取市 40.9% 千葉県(公立)44.8% 全国(公立)46.5%]
● 国語 3 四	「おれ」は何を「なるほど」と思ったのかについて、話の展開を取り上げて書く 【読むこと、記述式】 [香取市 70.5% 千葉県(公立)72.9% 全国(公立)73.8%]

力を入れたい学習

- ICT機器を活用してスピーチの様子を動画で記録し、話し方を振り返ったり、工夫したことの効果を確かめたりするなどの学習活動を取り入れる。その際、話す内容や話し方を検討したり、表現の工夫の意図を明確にして工夫したことの効果を確かめたりする場面を設定する。
- 意見文を書く際には、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠となる複数の事例や専門的な立場からの知見を引用することなどを指導する。
- 物語の結末などについて、複数の場面を相互に結び付けたり、各場面と登場人物の心情や行動、情景等の描写とを結び付けたりして解釈し、それぞれの考えを伝え合う学習活動を設定する。

中学校の傾向と課題



領域別では、「数と式」「関数」「関数」「データの活用」すべてにおいて全国平均を下回っており、特に「関数」は、全国平均を100とした場合、香取市が84.2となる結果でした。

問題形式別でも、「選択式」「短答式」「記述式」すべてにおいて全国平均を下回っており、特に「記述式」が大きな課題となっています。全国平均を100とした場合、香取市が80.7となる結果でした。

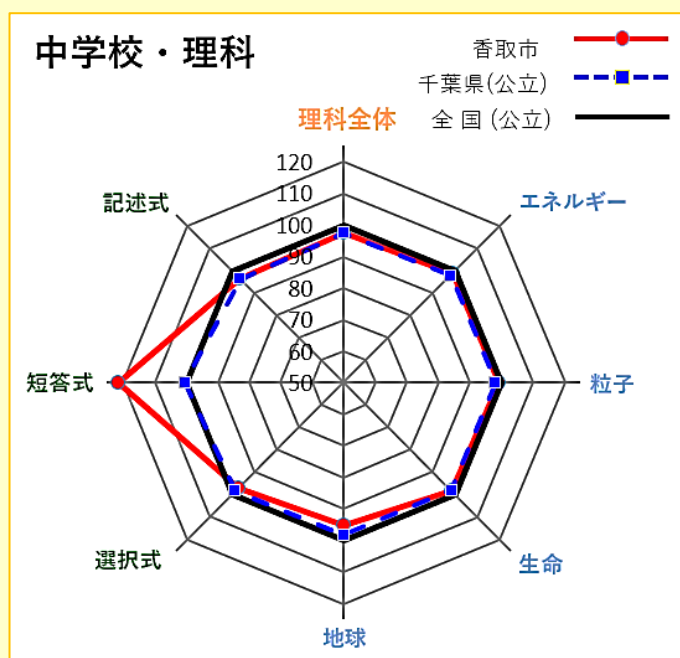
課題が見られた主な問題

● 数学4	変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ 【関数, 選択式】 [香取市 29.3% 千葉県(公立)36.9% 全国(公立)37.9%]
● 数学6(2)	差が4である2つの偶数の和が、4の倍数になることの証明を完成する 【数と式, 記述式】 [香取市 38.1% 千葉県(公立)45.7% 全国(公立)48.7%]
● 数学8(2)	目標の300kgを達成するまでの日数を求める方法を説明する 【関数, 記述式】 [香取市 28.0% 千葉県(公立)36.3% 全国(公立)38.4%]

力を入れた学習

- 一次関数の変化の割合の意味を理解し、それを求めることができるようにするために、 x と y の増加量やその割合を調べる学習活動を設定し、変化の割合の意味を理解できるように指導する。
- 事柄が一般的に成り立つ理由を、見通しをもって説明する場面を設定し、文字式や言葉を用いて根拠を明らかにできるようにする学習活動を取り入れる。その際、必要に応じて、説明を洗練させていく活動や説明し合う場面を取り入れていく。
- 問題解決のために数学を活用する方法を考え、説明できるようにするために、例えば、表、式、グラフなどの「用いるもの」と、それらを問題解決するためにどう用いたかという「用い方」について考え、的確に説明できるように指導する。

中学校の傾向と課題



領域別では、「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」を柱とする領域すべてにおいて、全国平均と同程度といえます。

問題形式別では、「短答式」が全国平均を大きく上回っています。全国平均を100とした場合、香取市が121.4となる結果でした。「選択式」「記述式」は全国平均と同程度といえます。

課題が見られた主な問題

● 理科1(1)	日常生活の中で、物体が静電気を帯びる現象を選択する 【「エネルギー」を柱とする領域、選択式】 [香取市 39.0% 千葉県(公立)43.9% 全国(公立)44.2%]
● 数学2(2)	気圧、気温、湿度の変化をグラフから読み取り、雲の種類の変化と関連付けて、適切な天気図を選択する 【「地球」を柱とする領域、選択式】 [香取市 36.1% 千葉県(公立)39.9% 全国(公立)40.8%]
● 数学8(2)	予想や仮説と異なる実験の結果が出る場合、その意味することや考えられる可能性について考え、実験の操作や条件制御の不備の可能性を指摘する 【「生命」を柱とする領域、記述式】 [香取市 50.2% 千葉県(公立)54.2% 全国(公立)55.1%]

力を入れた学習

- 日常生活の動作の中で発生する静電気の性質により引き起こされる現象や、静電気を利用したものを静電気の性質と関連付けて説明する学習場面を設定する。その際、帯電と放電に分けて整理するように指導する。
- 校庭にある百葉箱の観測データとタブレット型端末で空の様子を撮影した画像を、天気図と関連付けて考察する学習場面を設定する。その際、複数の観測データから読み取った情報を統合し、分析して解釈できるように指導する。
- 課題を解決するまでの探究の過程を見通せるようにするため、実験の計画を立案する場面で予想や仮説と異なる結果が出る場合を想定し、探究の方法について検討する学習場面を設定する。その際、話し合い活動を通して、適切な探究の方法を確認することで、観察、実験の基本的な技能を身に付けられるよう指導する。